

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	データ駆動型施設野菜栽培実証事業費								予算主管課		農産園芸課				
	事 業 概 要	県内で冬から春に栽培されている施設野菜品目のうち、イチゴ・きゅうり・トマトを対象に、低コスト環境計測機器の製作、検証及び製作講習を行うとともに、得られたデータの活用手法を確立し、栽培管理にフィードバックすることで、儲かる農業を実現する。								始期		2024				
										終期		2026				
	K P I	モデル農家の収量増加率														
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	4 %		目標値	8 %		目標値	12 %		
		実績値	%		実績値	%		実績値	9.4 %		実績値	26.2 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	235 %		達成率	327.5 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1037 千円		最終現計 予算額	1747 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	千円		決算額	841 千円		決算額	1412 千円		決算額	千円		
					繰越額	千円		繰越額	千円							
					不用額	335 千円		不用額	千円							
	7 年 度	要因分析	要因													
			総括													
		見直し方向性	維持	高温対策に関する指導を強化し、夏季の栽培管理を徹底するとともに、モデル農家が環境の変化に応じた柔軟な管理技術が習得できるよう研修内容を充実させることで、さらなる成果向上につなげる。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	ドローン防除農薬適用拡大普及事業費								予算主管課		農産園芸課				
	事 業 概 要	本県特有の急傾斜かんきつ園地での省力化につながるドローン防除の普及のため、利用可能な農薬の適用拡大及びドローンの高度利用技術の確立を図る。								始期		2022				
										終期		2027				
	K P I	ドローン防除適用農薬数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	12 剤		目標値	16 剤		目標値	18 剤		目標値	20 剤		
		実績値	剤		実績値	14 剤		実績値	21 剤		実績値	20 剤		実績値	剤	
		ストック /フロー	ストック		達成率	116.7 %		達成率	131.3 %		達成率	111.1 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	2300 千円		最終現計 予算額	1214 千円		最終現計 予算額	1068 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	920 千円		決算額	763 千円		決算額	661 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円							
					不用額	407 千円		不用額	千円							
	7 年 度	要因分析	要因													
			総括													
		見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定を超えた成果が出ており、8年度も現状の適用拡大状況を踏まえると、KPIは目標達成できると考えられることから、8年度の執行方法の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	スマート農業技術開発・普及促進事業費								予算主管課		農産園芸課			
	事 業 概 要	農業現場での労働力不足を解消し、省力化・効率化を一層図るため、水田農業における、スマート農業体系の総合実証を行い、実証成果を速やかに横展開し、現場実装を加速化させる。								始期		2022			
										終期		2027			
	K P I	スマート農業新技術開発・普及数													
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	2 件		目標値	6 件		目標値	6 件		目標値	6 件	
		実績値	件	実績値	2 件		実績値	6 件		実績値	6 件		実績値	件	
		ストック /フロー	ストック	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	5393 千円		最終現計 予算額	2635 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	4982 千円		決算額	2060 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
							不用額	575 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成 とされることがから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	広域連携型農林水産研究開発事業費								予算主管課		農産園芸課			
	事 業 概 要	国等の提案公募型研究資金や企業等の委託資金を活用して、産学官の広域的な連携強化を図り、先端技術等による生産、流通、加工等の現場に密着した質の高い試験研究を推進する。								始期		2004			
										終期					
	K P I	採択された提案公募型研究資金事業に関して、目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	90 %		目標値	90 %		目標値	90 %				
		実績値	85 %		実績値	98 %		実績値	96.3 %		実績値	98 %			
		実績値			実績値			実績値			実績値				
		ストック /フロー	フロー		達成率	108.9 %		達成率	107 %		達成率	108.9 %			
		コ ス ト		最終現計 予算額	117828 千円		最終現計 予算額	87566 千円		最終現計 予算額	78509 千円		最終現計 予算額		
				決算額	62675 千円		決算額	34957 千円		決算額	39927 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円						
				不用額	38582 千円		不用額	千円							
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	新活力創出試験研究プロジェクト推進事業費							予算主管課	農産園芸課	
	事 業 概 要	地球温暖化による生産環境の変化や担い手不足など、農林水産業の将来が不透明となる中、持続的な産地の発展を目指すべく、10年先の将来像を見据え、産地での現場実装を目標とした解決型の試験研究を展開する。							始期	2024	
									終期		
	K P I	各テーマに設定した目標達成率（平均）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %
		実績値	%	実績値	%	実績値	85 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	94.4 %	達成率	111.1 %	達成率	%
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	7753 千円	最終現計 予算額	5734 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	千円	決算額	7301 千円	決算額	5262 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
								不用額	472 千円	不用額	千円

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、9年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	若手研究員研究力向上対策事業費						予算主管課		農産園芸課						
	事 業 概 要	県内農林水産業の持続的な発展と次世代への継承を目指した技術革新を着実に進めるため、今後の研究の中心となる若手研究員の研究力とイノベーション創出力の向上を図り、全国トップクラスの研究機能を維持・強化する。						始期		2024						
								終期		2029						
	K P I	農林水産研究所研究員の学会誌等論文掲載率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	13 %		目標値	15 %		目標値	20 %		
		実績値	%		実績値	%		実績値	18 %		実績値	22.6 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	138.5 %		達成率	150.7 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計	千円		最終現計	4624 千円		最終現計	6586 千円		最終現計	千円	
	予算額						予算額			予算額	6586 千円		予算額	千円		
	決算額				千円		決算額	3819 千円		決算額	4553 千円		決算額	千円		
							繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	2033 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	農林水産研究所運営費								予算主管課	農産園芸課
	事 業 概 要	農林水産研究所（本所及び花き研究指導室）の維持管理を行う。								始期	1955
										終期	
	K P I	農林水産研究所の施設管理上の問題に起因する業務支障件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
		実績値	件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	79943 千円	最終現計 予算額	83688 千円	最終現計 予算額	94136 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	76269 千円	決算額	千円	決算額	88926 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
					不用額	5210 千円	不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成する と考えられることから、9年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12月補正

事 項	農業試験分析機器等整備費										予算主管課	農産園芸課	
事 業 概 要	高品質で安定した農産物生産を図るため、試験研究や成果普及に必要な機器を整備する。										始期	2009	
											終期	2025	
K P I	機器整備進捗率												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	%
	実績値	%	実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	38218 千円		最終現計 予算額	8226 千円		最終現計 予算額	46356 千円		最終現計 予算額	千円
			決算額	34723 千円		決算額	7326 千円		決算額	28562 千円		決算額	千円
									繰越額	千円		繰越額	千円
									不用額	17794 千円		不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成 と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	新たな花き産業の創出事業費								予算主管課	農産園芸課
	事 業 概 要	近年の地球温暖化による気候変動などに対応するため、亜熱帯地域の植物について、本県の気象条件に適合した施設栽培体系の確立、経営モデルの構築を行い、気候変動に対応した新たな花き産業を創出する。								始期	2025
										終期	2029
	K P I	目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1728 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	1716 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	12 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成する と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	カンキツ黒点病薬剤防除体系確立試験費						予算主管課		農産園芸課	
	事 業 概 要	果実の外観品質を著しく損ねるカンキツ黒点病に対し、生産現場の主要薬剤であるマンネブ剤の農薬登録が令和8年10月までに失効し使用できなくなるため、代替薬剤の評価と薬剤防除体系の確立を図るとともに、ドローンによる防除作業の省力化に取り組む。						始期		2025	
								終期		2027	
	K P I	目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計	千円	最終現計	千円	最終現計	922 千円	最終現計	千円
	予算額				予算額		予算額		予算額		
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	762 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	160 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成 と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初

事 項	鶏卵鶏肉の高付加価値創出試験費								予算主管課		畜産課		
事 業 概 要	県内養鶏農家の収益向上を図るため、栄養機能性成分としてニーズの高い「鉄」が強化された付加価値の高い鶏卵鶏肉を作出する技術の確立に取り組む。								始期		2025		
									終期		2027		
K P I	目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %			
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	%		
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	%		
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		
				繰越額	千円		繰越額	千円					
								不用額	533 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は計画どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初

事 項	和牛肥育発育性向上技術確立試験費										予算主管課	畜産課
事 業 概 要	若齢肥育技術により県内肥育農家の経営改善を図るため、若齢肥育における枝肉重量に影響を与える哺育・育成期及び肥育前期の和牛の発育性改善技術を開発する。										始期	2025
											終期	2027
K P I	目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %		
	実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1081 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円	決算額	千円	決算額	981 千円	決算額	千円		
							繰越額	千円	繰越額	千円		
				不用額				100 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は計画どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初,12月補正	事 項	畜産研究センター施設機器整備事業費								予算主管課		畜産課		
	事 業 概 要	畜産農家の経営安定を図るため、飼料コスト低減技術の開発等に必要な機器を整備する。								始期		2010		
										終期		2026		
	K P I	試験分析機器等整備実施率												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	%		目標値	100 %			
		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%		実績値	%		
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	12946 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額			千円		決算額	千円		決算額	11127 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円			
							不用額	1819 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は計画どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初

事 項	広域連携型農林水産研究開発事業費										予算主管課	林業政策課		
事 業 概 要	国等の提案公募型研究資金や企業等の委託資金を活用して、産学官の広域的な連携強化を図り、先端技術等による生産、流通、加工等の現場に密着した質の高い試験研究を推進する。										始期	2005		
											終期			
K P I	採択された提案公募型研究資金事業に関して、目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合													
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	90 %		目標値	90 %		目標値	90 %				
	実績値	85 %		実績値	98 %		実績値	96.3 %		実績値	98 %			
	実績値	85 %		実績値	98 %		実績値	96.3 %		実績値	98 %			
	ストック /フロー	フロー		達成率	108.9 %		達成率	107 %		達成率	108.9 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	87566 千円		最終現計 予算額	1378 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	千円		決算額	34957 千円		決算額	860 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円						
								不用額	518 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果がでており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初

事 項	林業研究センター試験研究機器整備事業費										予算主管課	林業政策課			
事 業 概 要	大径材を活用した試験研究を円滑に進めるため、試験体の運搬に必要な機器を整備する。										始期	2022			
											終期				
K P I	機器整備進捗率														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		目標値	100 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%	
	ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2662 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	2464 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
不用額										198 千円		不用額	千円		

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初,12月補正	事 項	水産試験分析機器等整備費										予算主管課		水産課		
	事 業 概 要	水産業の近代化及び活性化や関連技術の振興を図るため、飼料開発や種苗生産等に必要な機器を整備する。										始期		2013		
												終期		2026		
	K P I	機器整備進捗率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	%		
		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	34448 千円		最終現計 予算額	11382 千円		最終現計 予算額	17248 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				27449 千円		決算額	10588 千円		決算額	16911 千円		決算額	千円		
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	337 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	7年度は、予算計上した機器を全て整備できたため、現状と同様のKPIでKPIを採用し、来年度以降も必要な機器の整備を実施するため、見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

17

当初

事 項	広域連携型農林水産研究開発事業費										予算主管課	水産課
事 業 概 要	国等の提案公募型研究資金や企業等の委託資金を活用して、産学官の広域的な連携強化を図り、先端技術等による生産、流通、加工等の現場に密着した質の高い試験研究を推進する。										始期	2006
											終期	
K P I	採択された提案公募型研究資金事業に関して、目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %		
	実績値	85 %	実績値	98 %	実績値	96.3 %	実績値	98 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	108.9 %	達成率	107 %	達成率	108.9 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	87566 千円	最終現計 予算額	21750 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円	決算額	34957 千円	決算額	18522 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
						不用額	3228 千円	不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

18

当初

事 項	アコヤガイ異常死対策事業費								予算主管課		水産課				
事 業 概 要	アコヤガイの異常死原因が判明した中で、いまだ抜本的な対策は確立されていないため、被害軽減対策の検討強化及び強い貝づくりを加速化することで、真珠・真珠母貝生産量日本一を奪還する。								始期		2023				
									終期		2025				
K P I	稚貝保有数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	1800 万貝		目標値	2100 万貝		目標値	2400 万貝		目標値	2400 万貝		
	実績値	1545 万貝		実績値	2281 万貝		実績値	2055 万貝		実績値	2555 万貝		実績値	万貝	
	ストック /フロー	フロー		達成率	126.72 %		達成率	97.9 %		達成率	106.5 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	17208 千円		最終現計 予算額	15592 千円		最終現計 予算額	14253 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	16328 千円		決算額	13662 千円		決算額	11777 千円		決算額	千円	
								繰越額	千円		繰越額	千円			
									不用額	2476 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		依然として、アコヤガイ稚貝の異常死は発生しているものの、7年度は目標を上回っており、事業の進捗状況を踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、8年度の執行方法の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

19

当初

事 項	媛スマ養殖低コスト・効率化技術開発試験費								予算主管課		水産課			
事 業 概 要	スマ養殖の産業化に向けて、種苗の配付から出荷までの低い生残率及び近年の飼料価格の高騰に伴う生産コストの増加などの課題を解決するため、配付する種苗の大型化による生残率の改善や配合飼料を用いた養殖技術の開発により、生産コストの削減を図る。								始期		2023			
									終期		2027			
K P I	媛スマ養殖の産業化に向けた技術開発率													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %				
	実績値	%		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%			
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計 予算額	10488 千円		最終現計 予算額	10847 千円		最終現計 予算額	15070 千円		最終現計 予算額	千円
決算額				10271 千円		決算額	10675 千円		決算額	13802 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円						
								不用額	1268 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因											
			総括											
	見直し方向性		維持		媛スマ養殖の課題は、飼料価格の高騰と種苗配付後の低い生残率であり、本事業では、生残率の向上が期待される大型種苗の安定的・効率的な生産方法や飼料コスト削減の技術開発を進めることにより、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

20

当初

事 項	養魚用飼料原料新規開発事業費										予算主管課	水産課	
事 業 概 要	飼料の主原料である魚粉価格の高騰により、飼料価格が上昇しているため、水産研究センターにおいて、近年、栄養的特性や大量生産の可能性が注目されている昆虫を利用した新たな飼料を開発し、飼料コストの削減を図る。										始期	2024	
											終期	2025	
K P I	魚粉代替原料を使った飼料開発進捗率												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	0 %		目標値	100 %		目標値	100 %			
	実績値	%	実績値	%		実績値	100 %		実績値	%			
	ストック /フロー	フロー	達成率	%		達成率	100 %		達成率	%			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2682 千円		最終現計 予算額	2500 千円		最終現計 予算額	千円
			決算額	千円		決算額	1934 千円		決算額	2040 千円		決算額	千円
							繰越額	千円		繰越額	千円		
									不用額	460 千円		不用額	千円

7 年 度	要因分析	要因									
		総括 コオロギを魚粉の代替原料とした飼料の実用化に取り組んだものであるが、今年度で代替飼料の有効性等の知見が明らかとなり、実用化に向けた体制が整う見込みであるため、開発事業を終了することとした。									
	見直し方向性										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

21

当初

事 項	ノリ漁場生産力向上試験費								予算主管課		水産課			
事 業 概 要	漁場生産力の向上を図るため、クロノリを指標とした安価で持続性のある施肥剤を開発するほか、養殖資材である支柱を利用した簡便で安価な栄養塩供給技術を開発する。								始期		2024			
									終期		2026			
K P I	目論見・ねらいどおりに研究開発が進んでいる項目割合													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	100 %		目標値	100 %				
	実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%			
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2706 千円		最終現計 予算額	2651 千円		最終現計 予算額	千円
決算額				千円		決算額	2281 千円		決算額	2567 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円						
				不用額	84 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度もKPIは目標を達成すると考えられることから、予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

22

当初

事 項	水産研究センター運営費										予算主管課	水産課		
事 業 概 要	水産研究センター及び栽培資源研究所の維持管理を行う。										始期	1950		
											終期			
K P I	維持管理に起因する業務支障件数													
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件	
	実績値	件	実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件	
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	133016 千円		最終現計 予算額	133016 千円		最終現計 予算額	141022 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	128174 千円		決算額	128533 千円		決算額	133720 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円			
				不用額	7302 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	修繕などの維持管理を適切に行いながら業務を実施するため、見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。